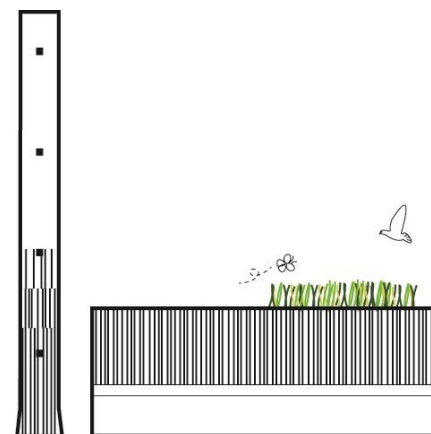


新武蔵野クリーンセンター 屋上の計画について



外構計画の方針

- コンセプト1 武蔵野の雑木林の再現
- コンセプト2 人が集い、コミュニティを育む
- コンセプト3 環境学習プログラムとの連動

(第9回 第三期新武蔵野クリーンセンター施設・周辺整備協議会資料より)

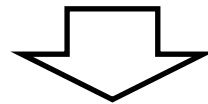
屋上の整備方針

●東京都自然保護条例

屋上のうち、設備機器などが置いていない部分の25%以上の緑化義務があります。

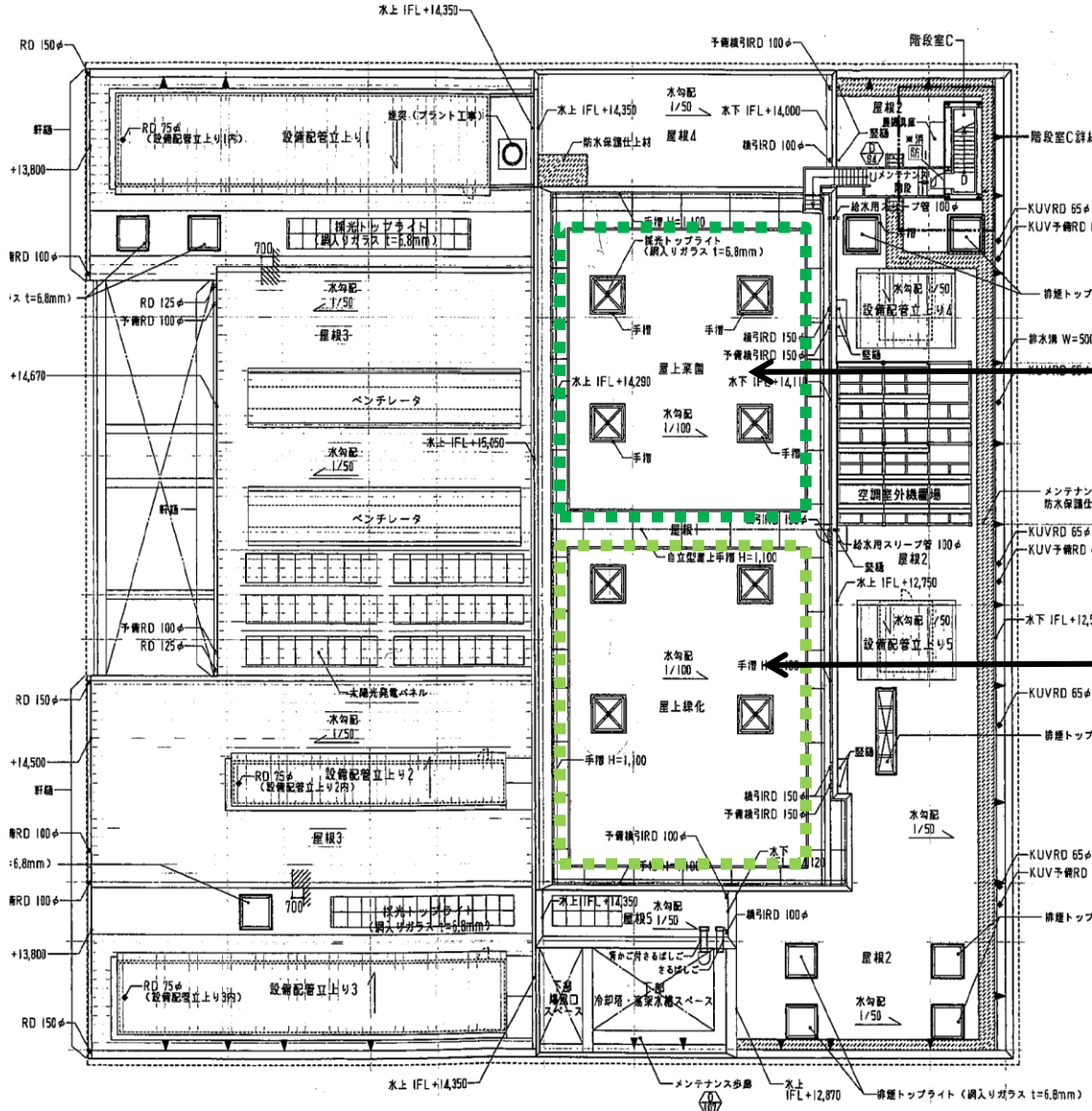
●東京都環境計画書制度

積極的に屋上緑化をすることが推奨されています。



- ・空いているスペースを積極的に緑化します。
- ・市民との協働により緑地の整備や運営を行います。
- ・緑地の整備にあたっては、生ごみや廃材、リサイクル材を積極的に活用し、ごみ減量への啓発につなげていきます。

屋上の整備方針



ベジブル
ガーデン

リサイクル
ガーデン

ベジタブル・ガーデン

事業者提案

ごみを媒介にしたワークショップ

ベジタブル・ガーデン（仮称）

- プラットホームのコンポストと屋上にある**ベジタブル・ガーデン(菜園)**を活用した**ワークショップ**を行います。
- NPO等の市民団体と連携して運営します。
- 収穫された野菜はコミュニティスペースで開催予定の「武蔵野エコマルシェ(仮称)」で販売する他、右記イベントにも活用していきます。



ベジタブル・ガーデンのイメージ

(第9回 第三期新武蔵野クリーンセンター施設・周辺整備協議会資料より)

進捗状況

荏原環境プラントの担当者と具体化に向けた協議を行っており、以下の方針を進めることを考えています。

- 水やり、たい肥作りなど、菜園の維持管理は原則としてSPC(新クリーンセンター運営のための特別目的会社。100%荏原環境プラントが出資。)が行います。
- 生ごみ堆肥を使った野菜作りを体験する市民向けのワークショップを開催する予定です。
- 工場見学時、希望があれば、ムーコンシェルが現地をご紹介します。
- クリーンむさしのを推進する会と連携し、運営を行います。
(具体的な連携方法は調整中です。)

リサイクル・ガーデン

事業者提案

リサイクルガーデン

- 建物解体時に発生したコンクリートや瓦などの**廃材及び現地発生土を使用**して土壌をつくります。
- 近年減少の傾向にある**草地を育成**し、鳥類や昆虫などに住みかを提供します。
- ロンドンオリンピックの施設建設などのために解体された建物から出た大量の廃棄物をリサイクル材として再利用するためにイギリスで開発されました。



リサイクルガーデンのイメージ

(事業者提案書より抜粋。

第9回 第三期新武蔵野クリーンセンター施設・周辺整備協議会資料より)

リサイクルガーデンとは？

千葉大学と鹿島建設の合同で開発した屋上緑化の手法で、「屋上はらっぱ」の名称で2013グッドデザイン賞を受賞している。



(施工事例: 千葉大学 GOOD DESIGN AWARD ホームページより)

屋上はらっぱ概要

- 「屋上はらっぱ」概要

屋上はらっぱは、近年減少している町中の空き地等の草地を近隣植生と日用の廃材により整備する、市民参加型の新しい屋上緑化デザインである。従来、自動灌水装置やプラスチック製資材を用い、樹林の形成を目的とした画一的な屋上緑化が普及してきたが、コストや維持管理、荷重等の課題があり、市民のデザインや施工への参加も限られていた。本デザインでは、市民が地域生態系調査、リサイクル資材収集、デザイン、施工を実施し、自らが「緑」を作る楽しさを体験できる、環境に配慮した低コストで軽量な屋上緑化を可能とした。また、このような屋上は、ヒバリやスズムシなど草地を好む生物の貴重な生息空間となり、生物多様性に貢献する。

(GOOD DESIGN AWARD ホームページより抜粋)

進捗状況

鹿島建設の担当者と具体化に向けた協議を行っており、以下の方針で進めることを考えています。

- 今年の夏休みに開催する小学生を対象としたデザインワークショップを踏まえ、詳細設計を行います。
- 平成29年4月以降は、市民向けの観察会などを開催し、市民に親しまれる緑地を目指します。
- 工場見学時、希望があれば、ムーコンシェルが現地をご紹介します。

ワークショップの概要

- 緑地の専門家から屋上緑化の効果や地域の植生について学びます。
- 昆虫の専門家から、昆虫のすみかや地域に生息する昆虫について学びます。
- 使用できる廃材を紹介します。
- 4～6人のグループに分かれて、草地のデザインを考えます。
- デザインアイデアをグループごとに発表してもらいます。

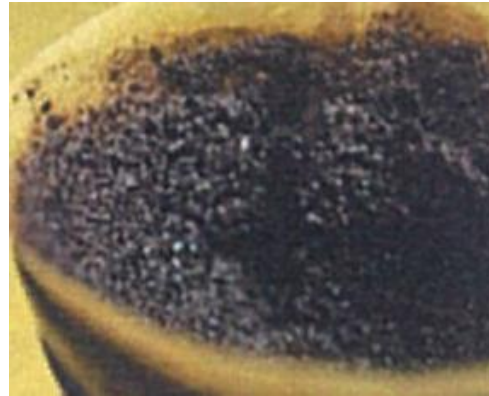


鹿島建設が提案されたデザインアイデアをもとに、
詳細設計及び施工を行います。

使用する廃材(候補)



耐火れんが
(現クリーンセンター
焼却炉用デッドストック)



コーヒーがら(土壌)



ペットボトルキャップ(貯排水)



古着(貯排水)



布団(貯排水)

使用する廃材(候補)



古タイヤチップ(排水機能)



竹(貯排水機能)



ボタン(排水機能)



羊毛(フィルター機能)



鍋(生物の隠れ家)



枝(生物のすみか)

使用する廃材(候補)



現クリーンセンタープラントの一部
(オブジェ・生き物の隠れ家)

使用する土(候補)

- 緑町都営アパート未利用地
- 都立井の頭公園
- 都立武蔵野中央公園
- 千川上水
- グリーンパーク緑地
- 野鳥の森公園
- 境山野緑地
- 境南中央公園
- 土の回収

今後のスケジュール

今後のスケジュール

- ベジタブルガーデン、リサイクルガーデンともに、平成28年7～8月に資材を屋上に運びます。
- デザインに関わらない基盤の部分のみ平成28年7～8月に施工します。
- デザインに関わる部分については、詳細が決定次第、順次施工を進め、平成29年3月末までに完成させます。
- 平成29年4月1日にオープンします。
- 平成29年以降に開催を予定しているワークショップ、観察会等の内容については、今後事業者と協議を進めます。

新武蔵野クリーンセンター 事業者提案イベントについて



市民に親しまれ、共に成長する施設



事業者提案コンセプト 環境啓発に貢献する 「見て学ぶ」・「やって学ぶ」市民協働の方策

- ・ムー・コンシェルを配置
- ・運営協議会、NPO、地元企業などと連携し、イベントを開催

武蔵野エコマルシェ(仮称)

新クリーンセンターは地域に開かれた施設を目指しています。環境にやさしい暮らしを伝えていくため、さまざまなアイデアを考え、楽しみながら環境について考える機会を創出するごみ処理施設発信の「エコマルシェ」を提案します。



開催イメージ

会場は、新工場棟東側の公開空地「コミュニティスペース」を想定。フリーマーケットや骨董市、アップサイクルのワークショップ、不揃い野菜の販売など、環境にやさしいライフスタイルを発信する企画を検討中です。

武蔵野アップサイクル・コンテスト



図 6 参考資料:NPOが実施したリサイクルコンテスト

アップサイクルを推進する企業やNPOとの連携により、武蔵野市独自のアップサイクルコンテストを実施します。

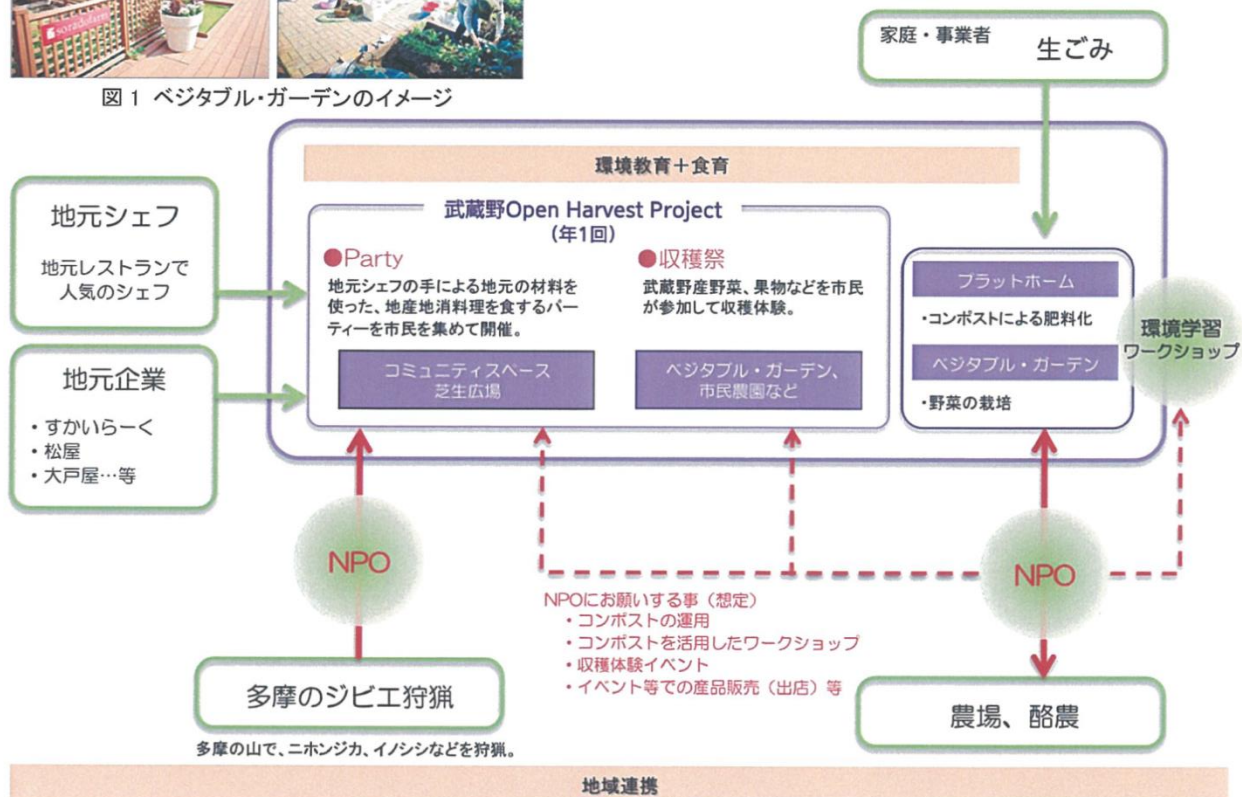
武蔵野市内や周辺の高校、大学等にも呼びかけ、若い人たちへの参加も促します。コンテストに向け、アップサイクルのワークショップをエコマルシェなどで開催します。コンテストの作品は、新クリーンセンターで展示します。

武蔵野OPEN HARVEST

ベジタブル・ガーデンで収穫された野菜やNPOが独自に運営し収穫している野菜や果物など、を活用する「環境と食」をテーマにしたイベントを開催します。地元レストランや商店、地元企業等との連携により質の高い食を提供します。



図1 ベジタブル・ガーデンのイメージ



ペチャクチャナイト



図4 「ペチャクチャナイト」の参考イメージ

1人20枚のスライドにコメントを20秒ずつ付けて、合計6分40秒でプレゼンテーションを行う簡単なルールでミーティングを行います。

「ペチャクチャナイト」という名前で、世界400以上の都市で開催されています。

1回につき、10名程度のプレゼンテーションを行う「ペチャクチャナイト」を年に数回開催します。プレゼンテーション後は、懇親会の開催も検討しています。

将来のごみ処理の検討に役立つようなテーマを設定し、幅広い層のコミュニケーションを促進します。

テーマ例 市内で活動する市民団体の発表
世界のごみ処理
子どもたちによる「ごみ減量」活動報告